

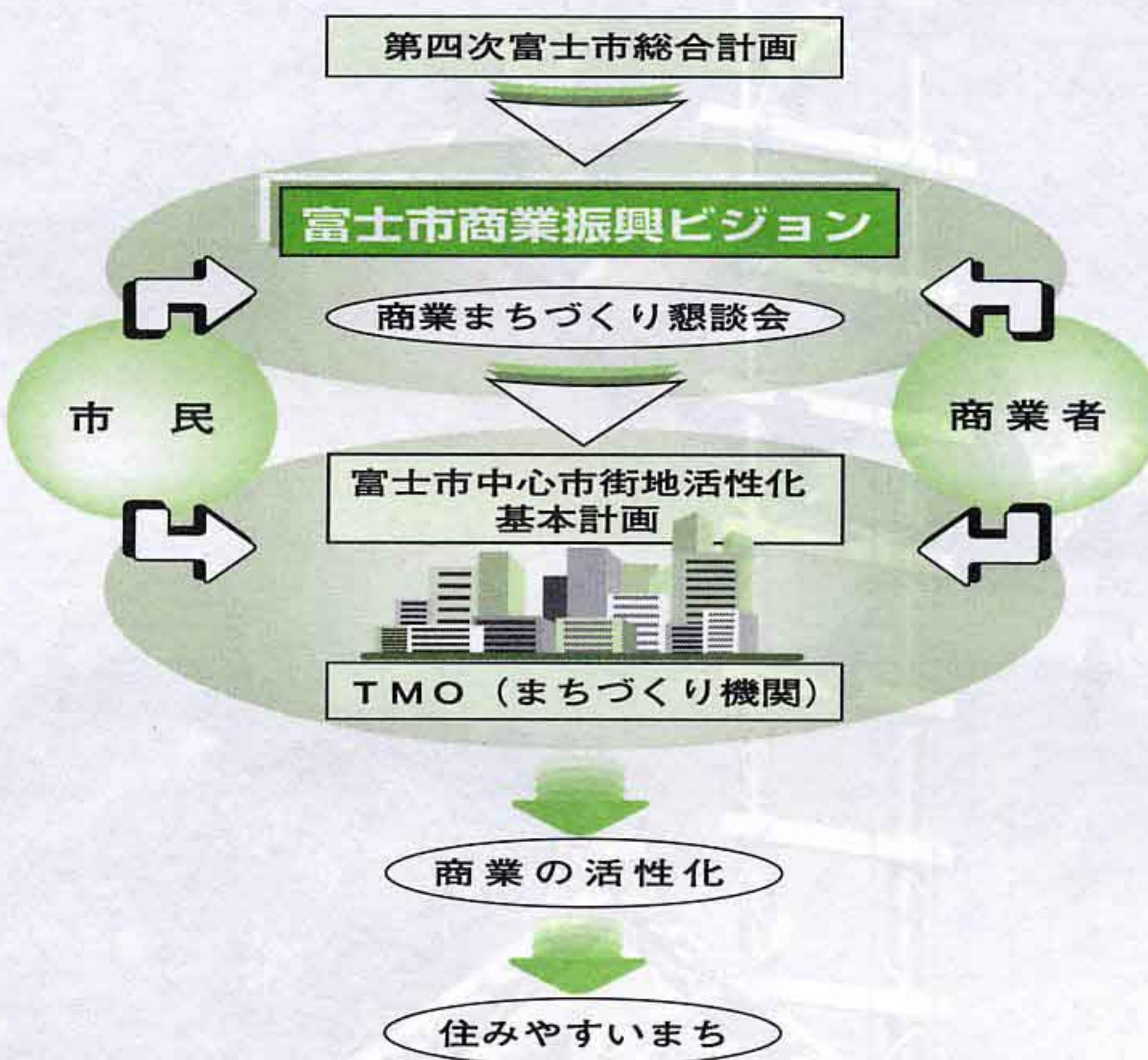
# 富士市の商業の 将来像を描く

# 商業振興会ジヨウノミ

市では、平成十五年度に「中心市街地活性化基本計画」を策定するに当たり、市民の意見を十分に聞き、市全体の商業の将来像を見定めるため、平成十三年度・十四年度の二か年で「商業振興ビジョン」の策定を取り組んでいます。

## 商業振興ビジョンとは？

モード変遷の進展などに伴う市民生活の変化や市民ニーズの多様化、大型店の進出などにより、富士市の商業を取り巻く環境は大きく変化しています。この影響を受け、中心市街地をはじめとする既存の商店街は厳しい状況に置かれています。商業振興ビジョンでは、計画の策定を市民と一緒にやって進めることにより、市民の協力の中から、商店街や商店の具体的な目標を引き出していくことを目指しています。また、都市計画サイドとの連携を図り、市全体のまちづくりの方向性を踏まえた商業振興の方針を検討していきます。



**地元購買率は高いが、買い物先は多極分散化の傾向**



# 富士市の人はどこで買い物をするの?

富士市の地元購買率（消費者が居住する地域で買い物をする割合）は、近隣市町村の中でも高い傾向にあり、県下第二位の位置になります。



資料：平成12年度静岡県の消費動向

このビジョンをもとに「中心市街地活性化基本計画」を策定し、「TM<sup>※2</sup>（Town Management organization）」の設置を目指します。

※1 日常生活での自動車の普及、一般化  
※2 商工会議所・商店街・行政・市民などにより構成され、中心市街地活性化基本計画を具体的に推進する機関

また、買い物などに利用する交通手段を尋ねたところ、七〇%近くの人が「自家用車」を利用していることがわかりました。その一方で、安心して利用できる公共交通機関への希望も五五%近くありました。

## 商業まちづくり懇談会を開催しています

商業振興ビジョンでは、計画の段階から市民の皆さんに参加していました。また、将来のまちづくりの担い手になつていただくため、「商業まちづくり懇談会」を開催しています。

十二月十九日に行われた第一回目の懇談会では、富士常葉大学教授の竹内文則さんによる講演のほか、「富士市ってどんなところ?」をテーマにワークショップを行い、富士市の商業の現状やまちづくりについて、参加者が活発に意見を出し合いました。多くの意見や知恵を出し合うことで、富士市の特性を生かした計画ができると考えています。皆さんの積極的な参加をお待ちしています。



第1回懇談会に参加  
清 宏子 さん  
(本市場町)

大勢の人と、富士市の商業を盛り上げていきたい

一市民として発言し、まちづくりについて話し合ひができる場はここだと思い、期待してこの懇談会に参加しました。

商業まちづくりに関する問題はいろいろありますが、大勢の人々が参加し、発言し、盛り上げていかなければならぬと感じました。この懇談会が、より多くの人が集まる会になれば、大きな力となり、富士市の商業は変わると思います。ぜひ、大勢の人に懇談会に参加していただき、一緒に考えていくたいと思いました。



### 富士市にふさわしい商業を

大型店の出店や車社会の進行により、昔からある商店街は、全国的に見ても低迷を続けています。そこで、商店街の活性化を図ることも、市全体のまちづくりの中で富士市にふさわしい商業のあり方を考えていこうということから、商業振興ビジョン策定委員会ができました。

市内には、何か所かに商店街がありますが、各地に点在している

### 第一回商業まちづくり懇談会の参加者を募集します

とき 二月九日(土) 十三時三十分～十六時

ところ ラ・ホール富士五階研修室

内容 ワークショップ形式での意見交換など

対象 市内在住・在勤でまちづくりに興味のある人（高校生以上）

申し込み 二月八日(金)までに、直接または電話で商工労政課、または当日直接会場へ

※託児を行いますので、小さなお子さんをお持ちの人も、気軽にご参加ください。

### 問い合わせ

**商工労政課  
商業観光担当**  
**☎55-2777**



商業振興ビジョン策定委員会  
委員長 柳澤 勝 教授  
(富士常葉大学流通経済学部長)

せいか、核となるものがありません。富士市のシンボルとなるよう核を育てていくことが、商業の発展につながってきます。そのため、いろいろな立場にある人々から、多くの意見を聞き、議論をしていく必要があります。商業の活性化には、個々の商店の努力だけでなく、住環境や交通機関などを含めた街全体の魅力をどうつくり出すかが重要になります。富士市も「産業のまち」としてだけでなく、これからは「住みやすいまち」になるようなまちづくりを進めていくことが求められます。そのためにも、商業まちづくり懇談会など、市民の皆さんが高い何でも話し合える機会を多くつくり、まずは日常的な生活の中で感じていることについて意見を出し合つていけるといいですね。